

## パブリックコメントの結果について

### 1 パブリックコメントの実施状況

(1) 意見募集期間

平成19年11月12日（月）～11月30日（金）

(2) 意見の応募者数と件数

応募者数：4名 【男女内訳】 団体1件，男性2件（40代，60代），不明1件

意見件数：8件

(3) 提出方法の内訳

	郵送	FAX	Eメール	電話	その他	合計
人数	1	1	1	1		4

### 2 意見の概要と市の考え方

NO	意見の内容	意見に対する考え方（案）
1	・宇都宮らしさがどこにも表現されていない。	・北関東の歴史や文化をリードする中心的役割を担った宇都宮市の地域性と粘り強く取り組んできた宇都宮市の人々の市民性を「北関東の真ん中にふんばる」と表現いたしました。
2	・「もったいない」と「おもてなし」は市が積極的に取り組んでいることなので組み入れるべきである。	・「宮っ子の誓い」は、様々な意味を含んだ言葉を取り入れることで、子ども一人一人が、自分とのかかわりの中で、その意味を受け止められるよう配慮しております。 そのため、直接的な表現ではありませんが、「もったいない」や「おもてなし」は、「いたわる心」や「美しいもの愛する心」としても、とらえることができます。
3	・「持ってます」 ⇒「を持ちます」	・「宮っ子の誓い」は、子どもが主体的に取り組めることが重要です。覚えやすく唱和しやすいよう配慮しており、リズム感がでるよう5・7調に統一し「持ってます」といたしました。
4	・「よわい人をいたわる心」 ⇒「よわい人をいたわる親切な優しい心」	・「いたわる」には、「優しく大切に扱う」という意味があるため、「いたわる心」には、「親切な優しい心」も含まれるととらえております。子どもが覚えやすいように、言葉を精選する観点からも「よわい人をいたわる心」といたしました。

5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「夢を抱いてやりぬく心」 ⇒「常に夢を抱いてやりぬく向上心」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いつも子どもが「宮っ子の誓い」を心に留められるようにしていきたいと考えておりますので「常に」ということばは、あえて入れませんでした。また、「向上心」については、「夢」の実現を目指し「やりぬく」姿勢に含まれていると考えております。</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自然や社会に対して感謝する心」を追加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「美しいもの」を感じとり、愛することにより自然に対して感謝する心が芽生えると考えております。社会に対する感謝の気持ちについては、子どもが「宮っ子の誓い」をもとに人や社会とかかわる経験を通して、自然に芽生えてくるものと考えております。</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文章が長く、子どもには覚えられない。四文字熟語のような形でもっと分かりやすいものにするべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児期から、子どもが繰り返し「宮っ子の誓い」を口ずさむことで、覚えやすくなると考えております。このため、「宮っ子の誓い」の推進にあたっては、学校教育や地域活動をはじめ、様々な場面において唱和などができるように工夫していきたいと考えております。 四文字熟語については、子どもが覚えやすい形式ではありますが、特に幼児に対して意味が十分伝わらないことが考えられますことから、リズム感のある平易な文で「宮っ子の誓い」を表しております。</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨今の新聞紙上を賑わす事件や諸々の格差を生み出している社会情勢の中で、「宮っ子の誓い」を制定し、実践することは次代を担う子どもたちにとって、必要かつタイムリーである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児期から青年初期における子ども時代の「人づくり」が、その人の一生に大きな影響を与えると考えております。特に、「社会性」や「規範意識」といった、よりよい社会をつくるために必要な資質については、この時代にしっかりと身に付けるが必要であります。「宮っ子の誓い」の制定により、本市の子どもたちが、素晴らしい未来を創ることを期待しております。</li> </ul>